# 薬剤師になる前に

### 今だからOTC医薬品を学んでおきましょう!

#### 第8回 OTC医薬品概論(2) "鼻炎用薬"

毎日、薬局に勤務していると、気温や天気よりも来局者からの病気に 関する問い合わせから季節を感じるようになります。風邪やノロウイル スのように感染性の病気がはやると冬を感じ、花粉症の話を聞くと春を 感じます。気温の上昇と共に水虫、日焼けなど皮膚疾患の問い合わせが 多くなって夏を感じ、それが終わったら、次の風邪シーズンの準備を始 めます。患者さんが薬を求めて来局される前に、季節に先駆けてOTC 医薬品を供給しておかなければなりません。もちろん、医薬品情報や養 生法など薬学的情報も同様です。すでに、シーズンは終わってしまいま したが、今回、鼻炎用薬を取り上げます。

### 必要な鼻炎用薬の適正使用

鼻炎用薬(内服)の成分には、抗ヒ スタミン薬 (第1世代、第2世代)、 交感神経興奮剤、抗コリン薬、消炎酵 素剤、生薬などがあります。

第1世代のクロルフェニラミン塩酸 塩、ジフェニルピラリン塩酸塩、カル ビノキサミンマレイン酸塩は、前述の 交感神経興奮剤であるプソイドエフェ ドリン塩酸塩、フェニレフリン塩酸塩、 抗コリン剤であるベラドンナ総アルカ ロイド、ヨウ化イソプロパミドなどと 一緒に配合されているのが特徴です。 そして後で述べる第2世代と比べ、す でにアレルギー症状が現れ、つらい症 状が出ている場合には、この配合剤の 方が症状緩和に適しています。

第2世代は、第1世代のやっかいな 副作用である眠気を軽減していて、さ らに抗アルギー作用もあります。です から、アレルギー症状が出てからでは なく、出てくる前から服用を始め、1 ~2週間続けて服用することが重要で す。第2世代は、医療用からのスイッ チ成分も多く、特に2010年以降いく つかの成分がスイッチされました(ケ トチフェンフマル酸塩、アゼラスチン 塩酸塩、エピナスチン塩酸塩、フェキ ソフェナジン塩酸塩、セチリジン塩酸 塩、エバスチン)。また、メキタジン を除き、単味の製品が多く、第1世代 では注意が必要である「高血圧」「心 臓病」「緑内障」「前立腺肥大症」など 治療中の方にもお勧めできるのが利点 です。これらスイッチOTC成分は、 今もなお、医療用医薬品で汎用されて いるのですが、効能効果やその他違い があるので医療用同様に使用できると は限らないので、医療用医薬品の添付 文書とOTC医薬品のそれとを比べ、 それぞれの注意事項を確認しなければ なりません。そして医療用のインタビ ューフォームなどから情報を収集し、

要指導・第1類医薬品の対面販売では 顧客から十分にヒアリングを行い、適 正販売につなげるようにします。

鼻炎用の漢方薬もいくつかありま す。まず、水状の鼻水が出る症状の方 には、「小青竜湯」が、鼻づまりのあ る方には、「葛根湯加川芎辛夷湯」な どが使われます。さらに副鼻腔炎、慢 性鼻炎の症状には「荊芥連翹湯」など の漢方処方があり、各社が製品を発売 しています。これらは、特に第1世代 の抗ヒスタミン薬と比べすぐに効果が 実感できるというわけにはいきません が、副作用である「眠気」がなく、自 動車の運転や事務作業ができます。

生薬の「マオウ」が入っていない漢 方薬(荊芥連翹湯など)は、抗コリン 薬の副作用である「口渇」「緑内障悪化」 「前立腺肥大の症状悪化」を起こす可 能性を回避できるので、これらの既往 歴がある方にもお勧めしやすいです。 体質や生活環境などをうかがい、その 方に合ったものを提案できる分野で

鼻炎用薬には点鼻薬(外用剤)があ ります。内服薬同様に抗ヒスタミン薬 に加え血管収縮剤であるナファゾリン

般用医薬品等委員会委員派スギ薬局、日本薬剤師会



塩酸塩、テトラヒドロゾリン塩酸塩や ステロイド成分、殺菌成分他が配合さ れています。特に、鼻閉に効果がある のですが、血管収縮剤を頻回に、ある いは長期使用(2週間以上)すると反 跳性の鼻閉を来します。不適切な使用 がかえって症状を悪化させることをき ちんと伝えることが重要です。点鼻薬 は、局所に直接噴霧し、特に血管収縮 剤配合剤は即効性もあり、頓服使用で きるので内服薬で効果不十分なとき、 症状がひどい場合にお勧めします。

最近のスイッチ成分に、「ベクロメ タゾンプロピオン酸エステル」があり ます。医療用では気管支喘息吸入剤と しても適応がある成分ですが、OTC 医薬品としては、花粉症(季節性アレ ルギー)のみ使用可で、真菌症、結核 などの感染症には禁忌で、喘息、緑内 障の患者などにも使用できません。ま た1年間に1カ月を超えて使用できま せんので、適正使用についてアドバイ スが必要です。

## 症状緩和を促すことが大事

以上のように、鼻炎用薬は医療用医 薬品のスイッチが進んでいるカテゴリ ーであり、漢方薬、和漢薬、点鼻薬な ど、バリエーションも豊富です。さら に、マスクなど周辺商品も多いので、 薬局で症状緩和ができる範囲がどんど ん広がっています。一方、鼻炎用(内 服)薬の添付文書を確認しますと、「5

してください」との注意書きがありま す。これは、総合感冒薬の「5~6回 服用しても……」に対し、服用を始め てからしばらく様子を見ていただく期 間、つまりセルフメディケーションで の観察期間が長いので、その間もしっ かり薬剤師が対応します。薬剤師が、 鼻炎の症状について相談を受けた時に

的知見に基づいて併用薬や、既往歴、 合併症などいろいろな状況を確認、判 断して、適正に商品を選択してくださ い。そして、服用中もその経過を観察 しながら、症状緩和を促す方策を提案 することが大事です。問い合わせから 症状緩和まで顧客に寄り添えれば、「花 粉症の時期になったら、薬局へ行こ う!」というかかりつけ薬局のイメー ジがつくでしょう。そして「花粉症な らお任せください」と自信を持って対 応できる薬剤師になっていただきたい

~6日服用してもよくならない場合は は、まずOTC医薬品の範疇で対応で ……医師、薬剤師、登録販売者に相談 きるものかどうか見極め、さらに薬学 と思います。 薬学生のための求人情報サイト ネット2017

http://www.pha-net.jp/

ファーネット

株式会社ユニヴuniv co.,lnc http://www.univ.co.jp UNIV

大阪本社 〒530-0047 大阪市北区西天満 3-4-15 公冠ビル 2F 東京支社 〒107-0052 東京都港区赤坂 3-2-2 日総第 24 ビル 7F

検索、

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 I-23-14 ISE 名古屋ビル 7F 〒810-0001 福岡市中央区天神 4-6-7 天神クリスタルビル 14F

